平成３０年度　第３回湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会議

日　時　平成３０年１０月９日（火）　１９時～
場　所　湯梨浜町中央公民館泊分館　２階大会議室

１．開　会

２．会長あいさつ

３．泊地域の強み・弱み・チャンス・ピンチまとめ・・・資料１
　　小さな拠点のテーマ、内容の検討

４．その他

５．閉　会

湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会委員名簿

任期：平成30年8月10日～平成32年8月9日（２年間）　　敬称略

	区分		役職	氏名	備考
1	産	鳥取県漁業協同組合　泊支所	組合員	朝日田　卓朗	
2	産	湯梨浜町商工会	副会長	石沼　友	
3	産	鳥取中央農業協同組合　泊支所	組合員	尾川　寛信	
4	福	社会福祉法人　湯梨浜町社会福祉協議会	事務局長	西田　貴頼	
5	金	株式会社山陰合同銀行　松崎支店	支店長	澤　志任	
6		泊総区代表		中尾　輝夫	
7	公募			田嶋　昭彦	
8	公募			坂田　克	
9	公募			遠藤　公章	
10	公募			渡辺　由佳	
11	公募			石井　美佳代	

		湯梨浜町	副町長（地方創生担当）	仙賀　芳友	
		湯梨浜町みらい創造室	室長	遠藤　秀光	事務局
		湯梨浜町みらい創造室	主事	谷岡　雅也	事務局

泊地域小さな拠点検討協議会　第３回会議　宿題まとめ

～基本計画策定に向けて、これまでの協議をＳＷＯＴ分析で再度整理します～

泊地域の強み・弱み、外部のチャンス・ピンチについて、各３項目以上記入してください。

泊地域の強み（内部分析）Strength	泊地域の弱み（内部分析）Weakness
・グラウンド・ゴルフ（潮風の丘とまり）（５） ・美しい海と漁港（定置網）（３） ・夏祭りの花火（２） ・イベント（とまり夏まつり、大名行列、泊貝殻節、大漁まつり、ＧＧ大会）（３） ・インターチェンジ、JR 泊駅、国道、交通の利便性が良い（２） ・地域の住民の繋がりが強い（２） ・海がある事（養殖ヒラメ、サーフィン出来る環境） ・良い意味で開発がされていない ・自然（海や山があり景色がよい）（３） ・60 代まだ元気 ・静かで落ち着く ・泊駅に瑞風が通過待ちで停車する ・原地区に列車の撮影スポットがある（お召列車が通った時） ・半径３ｋｍ以内に集落が密集している ・とまり美人、とまり漬、料理自慢といった特産品がある ・集落ごとに個性がある、団結力 ・海農産物	・買い物が不便、店がない（２） ・漁師の減少、農業・漁業の衰退（２） ・他地域の人に認知が薄い、他地域からの流入がない（２） ・アクセスが悪いわけでは無いが認知が弱い ・主要な施設が無い（近隣市町からお客さんを呼べる店や施設）（２） ・働く場所がない ・羽合地域のような宅地がない ・少子高齢化で先行き不安 ・土地が狭くて密集している ・泊は塩害が酷いというイメージが強い ・平らで活用できる土地がない ・海や海岸が実はあまりきれいでない ・宿泊施設がない（町内でははわい温泉・東郷温泉に役割を分担？）（２） ・９号線が地区を分断している ・昼間流入人口が少ない ・地域内の移動手段がない、徒歩移動が困難 ・各集落が分かれていて交流が少ない ・人が集うところ（こと）がない ・10～20 代の人たちが地域イベントへの関わりが少ない
チャンス・機会（外部分析）Opportunity	ピンチ・脅威（外部分析）Threat
・たみ（松崎地区にあるゲストハウス） ・漁村の原風景 ・潮風の丘とまり ・ＪＲの駅がある ・鳥取地区等の他地区からのアクセスは良い ・高速道路のインターチェンジがある事、山陰道鳥取市内路線開通（３） ・宣伝になるようなイベント ・いろいろな横のつながりをつくる ・温泉プールがある ・風光明媚なウオーキングコースがある ・店や医院が多い ・ワールドマスターズゲームズ 2021 グラウンド・ゴルフ会場（県内では鳥取市、米子市、倉吉市と４カ所） ・風車の撤去 ・定置網火曜の朝の市、元気海の開店（２） ・ヒラメラーメンの開店 ・泊小学校への広域通学 ・猫が多い（街角で猫に会える） ・地名の活用：泊まれないが止まってもらう機会をつくる １）とまる：止まる、２）とどまる：留まる、止まる ・夕日が綺麗 ・空き家が多い ・マリンスポーツ ・漁業、農業 ・イベント（ポケモンＧＯなど）を催す	・少子高齢化（２） ・人口減少（５）（高齢者が多い、出るばかりで戻ってこない） ・住民の多くは車で移動ができ日常の生活に不便がなく、危機感が無い ・町内の道が狭い ・外部者を受入れる土壌、環境が無い ・独身者が結婚しない ・海岸線の減少 ・生活が泊地区内で完結しないこと ・フリーＷｉ-Ｆｉスポットが整備されていない ・地場産業が育たない ・銀行や商店の撤退、閉店 ・精算年齢世代の減少による集落運営や伝統行事恵昭に支障が出ている ・若い人が親との同居をせず、エリア外に家を建てて流出している（２） ・空き家が多い ・塩害 ・住民が泊の強みを意識していない ・世代間の交流 ・一次産業の後継者がいない

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
総人口(人)	2,518	2,412	2,284	2,166	2,063	1,956	1,853	1,759	1,678	1,612	1,559
総人口(2015年を1.0とした指数)	1.0000	0.9579	0.9072	0.8602	0.8192	0.7770	0.7357	0.6988	0.6665	0.6403	0.6193

※本データは、平成27年8月作成の人口ビジョンで用いた湯梨浜町独自のシミュレーションを利用し平成27年国勢調査数値を用いて作成しています。